

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島（GW三島）は29日、同市御園の松毛川右岸に、市提供の三島桜35本を植樹した。日大三島高インターアクト同好会の生徒ら15人が、「松毛川千年の森づくり」として取り組んだ。

GW三島は、松毛川用の排水路沿いにある所有地で、「三島桜の里」の整備を目指し、千本植える計画を立てている。今回は幅約3㍎、延長約150㍎ある河岸の水路側で作業した。

GW三島「千年の森づくり」

松毛川に三島桜

高校生と35本植樹

高校生は8人参加し、高さ約1・5㍎の苗木を約1㍎間隔で植えた。シャベルで穴を掘り、スギのチップをまき、川からくんだ水を入れて保水性を高めた。また、草刈りも手伝った。

同高1年の北川光織さん(15)は「初めて参加した。花が咲くのが楽しみ」と笑顔を見せた。GW三島の渡辺豊博専務は「早ければ2年ほどで開花する。その時は、参加したみんなでバーベキューでもやりたい」と話した。



三島桜の苗木を植樹する高校生ら＝三島市御園